

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530803

研究課題名（和文）海外での教育実習による幅広い視野を持つ教員の養成

研究課題名（英文）Training of the teacher who has international understanding by teaching practice in foreign country

研究代表者

江島 徹郎（EJIMA TETSURO）

愛知教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：10335078

研究代表者の専門分野：教育工学・メディア教育

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：カリキュラム構成・開発・教育実地研究

1. 研究計画の概要

本研究は、海外での「教育実習」を通して、幅広い視野をもつ教員を育成することを目的とする。具体的には、海外国際交流協定締結校との間で、本学学生が海外における小学校等で実際に観察・参加・実習を行い、その効果を明らかにする。さらに海外国際交流協定締結校の学生が、本学附属学校園等で同様の教育実習を行う。その相互の効果も明らかにする。

(1) 海外での「教育実習」の試行

2007年度から2010年度にかけて、海外国際交流協定締結校の学生が相互に「教育実習」を行う。

(2) 上記学生のコミュニケーションにはeラーニングシステム等を活用する。

(3) これら効果について調査を行って評価を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

4年計画の3年目が終了しており、海外国際交流協定締結校との学生の相互の「教育実習」は、ほぼ計画通りに実行している。

それぞれの学生は、相互に協力してひとつの授業を創り上げてきた。この協力関係の形成は、それぞれの大学の留学生や留学経験者、以前の相互訪問研修プログラムへの参加者などが積極的に参加したことによるところが大きい。ただし研修の総合的な目的である国際理解という点では、日本側の教材が互いの国の文化的と考えられる内容に偏るなど、問題点がある。

また学生交流という点では、参加学生にこの研修について伝えたいという思いが強いようで、後輩である学生に対して、積極的に指

導する姿が多くみられた。これによって、参加する学生が変わっていくにも関わらず、研修に継続性が生まれ、徐々に改善されていくこととなった。またそれぞれ研修に参加した学生が、その後相手国に留学することも多くあり、そうした学生がコアとなって、それぞれの学生に橋渡し役となっていった。

残念ながら、複数国の学生が参加する実習については、日程の調整や場所の確保が難しく、行えていない。そのため、主に2か国での検討となっている。

この「教育実習」にはeラーニングシステムを活用している。eラーニングシステムに残された記録を分析することにより、学生がどのような国際理解を行っているかが明らかになった。この指導については、逐次改善を繰り返している。

この研修に参加した学生の一部は、すでに大学を卒業して、実際の教員になっていたり、大学院に進学あるいは企業に就職したりしている。こうした学生を追跡して調査し、本研究の成果を評価しなければならない。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

計画以上に進展した部分、計画通りに進展した部分がある一方、計画の変更を余儀なくされた部分が混在している。

海外での「教育実習」は、授業の内容が回を重ねるごとに良くなっている。またこの授業を実現するための複数国の学生の協力は、事前の予想以上によくできていると考える。

しかし、3か国以上での取り組みが難しかったこと、評価が現時点で十分に行えているとは言えないことが問題である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究は、ひとつの転換期を迎えたと考え
る。

研修に参加したそれぞれの国の学生や留
学生が、自律的に考え、行動し、お互いに連絡
を取り合い、研修を遂行する姿勢が強く見ら
れるようになった。この点は、明らかに事前
の予想を上回っており、継続したい。

しかし、これら学生の国際理解の深まりに
は、より多くの事前の準備や、体系的な指導
が欠かせないことも、明らかになってきたと
考える。よってこれを行う。

また評価については、過年度も含め、参加し
た学生を中心に、調査し行いたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に
は下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

江島徹郎、山根真理、上田崇仁、梅田恭子、
「教育実習」を核とした日韓交流プログラ
ムの発展 -2008年度 愛知教育大学 - 晋州
教育大学校の学生相互訪問を中心に-、愛
知教育大学教育実践総合センター紀要、12、
99-106、2009、査読無

<http://hdl.handle.net/10424/1911>

李榮晩、孔泳泰、姜洪在、土屋武志、山根
真理、江島徹郎、梅田恭子、上田崇仁、
大學 日本 姉妹大學(愛知教育大學) 間
學生 交流 活動 実績 反省、晋州
教育大學校 大學論文集、50、111-126、2008、
査読無

山根真理、江島徹郎、梅田恭子、孔泳泰、
姜洪在、「教育実習」を核とした日韓交流プ
ログラムの開発と実践 - 2007年度 愛知教育
大学 - 晋州教育大学校の学生相互訪問を中
心に-、愛知教育大学教育実践総合センター
紀要、11、47-53、2008、査読無

〔学会発表〕(計1件)

Tetsuro EJIMA、Kyoko UMEDA、Practical
Research of Teaching Practice by Japanese
University Students in Korea to Foster
International Perspective in Teachers、The Second
International Symposium on Educational
Cooperation for "Industrial Technology
Education"、2008年7月5日、愛知県刈谷市

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕